

令和6年度

横浜創英大学

〔看護学部 看護学科〕

総合型選抜入学試験(第Ⅰ期)

基礎総合

令和5年9月23日(土)

(注意事項)

1. 「始め」の指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 指示があったら問題冊子と解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。
3. 問題は1ページから6ページまであります。
落丁、乱丁、印刷の不鮮明な箇所があった場合は、静かに手をあげて試験監督者に連絡してください。
4. 解答は、解答用紙に記入してください。
5. 解答にはHB又はBの黒色エンピツ、シャープペンシルを使用してください。
6. 試験開始後は退室できません。
7. 問題冊子と解答用紙は回収します。

受験番号

6	0					
---	---	--	--	--	--	--

氏名

--

問題Ⅰ

設問 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の文章の主旨として最も適するものを、下の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

(小浜逸郎「なぜ人を殺してはいけないのか 新しい倫理学のために」から。)

- ① 「他人の迷惑」という言葉は、「人権の侵害」という法的な概念の領域にほぼ重なりと見てよいが、最近になって「人権の侵害」は適用できる範囲が広がったと言えるかもしれない。
- ② 個人主義の浸透した都市社会では、「人権の侵害」がリアリティのあるものとして感じられるが、歴史的に見れば「他人の迷惑」という言葉のほうが生活感に根差した響きを持っている。
- ③ 「自由に自分の欲望を満たしてよい」は、近代自由主義社会の原則であり文句のつけようがないが、最近「人権の侵害」という言葉にその根拠をさらわれつつあると感じている。
- ④ 「他人に迷惑をかけない」で踏まえておかななくてはならないのは、社会での倫理的な指針であるが、もろもろの「掟」などが倫理的指針としてのリアリティがあるものとして感じられる。
- ⑤ 「他人に迷惑をかけない」は、倫理的指針としては唯一リアリティのあるものとして感じられるが、社会を豊かにするための十分な条件ではないということを踏まえておかななくてはならない。

(2) 次の①～④の各文中の下線をつけた漢字の読み方を、ひらがなを使って現代仮名遣いで書きなさい。

- ① 携帯電話が出始めたころは、電波の影響が懸念されていた。
- ② 敗れはしたが、大会の予選を通過する一縷の望みがある。
- ③ 動物の場合、体の表面は上皮組織に覆われている。
- ④ 情報システムの脆弱性が指摘されている。

(3) 次の①～④の各文中の下線をつけたカタカナを、漢字で書きなさい。

- ① 動物のギャクタイを防ぐキャンペーン行う。
- ② 植生が長い年月の間に変化していくことをセンイという。
- ③ 学年の始めにリシュウする科目を登録する。
- ④ 幼い頃に見た風景がシンショウ風景となっている

(4) 次のア～オの漢数字を用いる慣用句やことわざ、熟語の□に入る漢数字の和として正しいものを、下の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ア ローマは□日にして成らず。
- イ 桃栗三年柿□年。
- ウ 千里の道も□歩から
- エ □度目の正直
- オ □寸の虫にも五分の魂

- ① 11
- ② 12
- ③ 13
- ④ 14
- ⑤ 15

(5) 次のア～オの各文を意味の通じるように並べ替えたものとして最も適するものを、下の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ア
- イ
- ウ
- エ
- オ

(小笠原喜康「議論のウソ」から。)

- ① ア → オ → ウ → エ → イ
- ② イ → ア → エ → オ → ウ
- ③ ウ → エ → ア → オ → イ
- ④ エ → イ → オ → ウ → ア
- ⑤ オ → ア → エ → イ → ウ

問題Ⅱ

設問 次の各問いに答えなさい。

- (1) ある大学のスポーツ大会で、綱引き、ドッジボール、玉入れの3種目を実施した。各種目に出場した学生の人数は、次の(ア)～(エ)のとおりであった。この結果から、綱引き、ドッジボール、玉入れの3種目すべてに出場した学生の人数を、下の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- (ア) 綱引きに出場した学生は82人だった。
(イ) 綱引き又はドッジボールに出場した学生は133人だった。
(ウ) ドッジボールにも玉入れにも出場した学生は47人だった。
(エ) ドッジボールにだけ出場した学生は35人だった。

- ① 22人
② 25人
③ 28人
④ 31人
⑤ 34人

- (2) 縦12m、横8m、深さ6mの直方体の水槽に、毎分2m³の水を注入して水槽を満たすこととした。午後1時に注入を開始したとき終了予定時刻として適当なものを、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ① 午後5時48分
② 午後7時00分
③ 午後8時12分
④ 午後9時24分
⑤ 午後10時36分

- (3) ある大学の学生20人の出身地は、A県12人、B県6人、C県2人である。この学生20人の中から任意に3人を選んだとき、3人ともA県の出身である確率を、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ① $\frac{3}{20}$
② $\frac{3}{32}$
③ $\frac{11}{32}$
④ $\frac{4}{57}$
⑤ $\frac{11}{57}$

(4) 食塩水A300gと食塩水B400gを混ぜ合わせて濃度4.0%の食塩水700gをつくった。食塩水Aの濃度が2.0%のとき食塩水Bの濃度を、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ① 5.0%
- ② 5.5%
- ③ 6.0%
- ④ 6.5%
- ⑤ 7.0%

(5) ある病院に入院している患者さん全員の採血をするのに、看護師Aが一人で行うと1時間、看護師Bが一人で行うと1時間30分、看護師Cが一人で行うと3時間、それぞれ時間を要する。看護師A、B、Cが分担して患者さん全員の採血をするときに要する時間を、次の①～⑤の中から選び番号で答えなさい。

- ① 20分
- ② 25分
- ③ 30分
- ④ 35分
- ⑤ 40分

問題Ⅲ

設問 次の問題文及び図表1、図表2は、農林水産省の「令和4年度食料・農業・農村白書」から作成したものである。問題文及び図表1、図表2を見て、あとの各問いに答えなさい。

【問題文】

食料自給率は、国内の食料消費が国内生産によってどれくらい賄えているかを示す指標です。供給熱量ベースの総合食料自給率は、生命と健康の維持に不可欠な基礎的栄養価であるエネルギー（カロリー）に着目したものであり、消費者が自らの食料消費に当てはめてイメージを持つことができるなどの特徴があります。令和3（2021）年度の供給熱量ベースの総合食料自給率は、小麦、大豆の作付面積、単収が共に増加したこと、米の外出需要が回復したこと等により、前年度に比べ1ポイント上昇し（ア）となりました（図表1）。

一方、生産額ベースの総合食料自給率は、食料の経済的価値に着目したものであり、畜産物、野菜、果実等のエネルギーが比較的少ないものの高い付加価値を有する品目の生産活動をより適切に反映させることができます。令和3（2021）年度の実産額ベースの総合食料自給率は、国際的な穀物価格や海上運賃の上昇等により、畜産物の飼料輸入額や油脂類・でん粉等の原料輸入額が増加したこと、肉類や魚介類の輸入単価が上昇したこと、米や野菜の国産単価が低下したこと等により、前年度に比べ（イ）低下し63%となりました。

我が国の食料自給率は、長期的には（ウ）にあり、供給熱量ベースの総合食料自給率は平成10（1998）年度に40%まで低下し、以降はおおむね40%程度で推移しています。長期的に食料自給率が低下してきた主な要因としては、食生活の多様化が進み、国産で需要量を満たすことのできる（エ）の消費が減少した一方、飼料や原料の多くを海外に依存している畜産物や油脂類等の消費が増加したことによるものです（図表2）。

【図表1】我が国の総合食料自給率

（単位：％）

年度	生産額ベース	供給熱量ベース	年度	生産額ベース	供給熱量ベース
昭和40（1965）	86	73	平成12（2000）	71	40
昭和45（1970）	85	60	平成17（2005）	70	40
昭和50（1975）	83	54	平成22（2010）	70	39
昭和55（1980）	77	53	平成27（2015）	66	39
昭和60（1985）	82	53	令和2（2020）	67	37
平成2（1990）	75	48	令和3（2021）	63	38
平成7（1995）	74	43			

【図表2】昭和40（1965）年度と令和3（2021）年度の食料消費構造の比較

（単位：供給熱量 kcal／人・日）

品 目	昭和40（1965）年度	令和3（2021）年度
米	1,090（1,090）	482（474）
畜産物	157（74）	410（67）
油脂類	159（52）	339（11）
小 麦	292（81）	299（52）
砂糖類	196（60）	181（66）
魚介類	99（108）	83（44）
野 菜	74（74）	65（48）
大 豆	55（23）	73（19）
果 実	39（34）	64（19）
その他	298（204）	270（60）
供給熱量 合計	2,459（1,799）	2,265（860）

※（ ）内は、国産供給熱量

- （1）問題文中の（ア）～（エ）にあてはまる語句として最も適したものを、次の語群A～Hから選び、記号で答えなさい。

＜語群＞ A. 米 E. 1ポイント
 B. 小麦 F. 4ポイント
 C. 増加傾向 G. 38%
 D. 低下傾向 H. 63%

- （2）次の（ア）～（オ）の文について、問題文及び図表1、図表2から読み取れる内容と一致しているものを、すべて選び記号で答えなさい。

（ア）生産額ベースの総合食料自給率は、エネルギー（カロリー）に着目したものである。

（イ）平成2（1990）年度以降の供給熱量ベースの総合食料自給率は、50%未満である。

（ウ）総合食料自給率は、生産額ベースのほうが供給熱量ベースよりも高い。

（エ）一人一日当たりの供給熱量が一番多い品目は、米である。

（オ）令和3（2021）年度の一人一日当たりの供給熱量が昭和40（1965）年度に比べ増加している要因は、畜産物の消費が増加したことによるものである。

（基礎総合 おわり）

令和6年度 横浜創英大学 総合型選抜入学試験(第Ⅰ期)

基礎総合解答例

問題Ⅰ	(1)	⑤											
	(2)	1	けねん			2	いちる			3	おお		
		4	ぜいじゃくせい										
	(3)	1	虐 待			2	遷 移			3	履 修		
		4	心 象										
	(4)	④											
	(5)	③											
問題Ⅱ	(1)	④											
	(2)	①											
	(3)	⑤											
	(4)	②											
	(5)	③											
問題Ⅲ	(1)	(ア)	G		(イ)	F		(ウ)	D		(エ)	A	
	(2)	(イ)、(ウ)、(エ)											